

<b>科目名 Course Title</b>	新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム		
<b>講義題目 Subtitle</b>	新渡戸カレッジ特別演習:アントレプレナーシップ		
<b>責任教員 Instructor</b>	鷲見 正人 [SUMI Masato] (大学院薬学研究院)		
	新渡戸カレッジ:谷 博文 [TANI Hirofumi] (大学院工学研究院)		
	新渡戸カレッジ:ホイットフィールド デールリー [WHITFIELD Dale Lee] (教育イノベーション機構)		
	新渡戸カレッジ:楊 梓桐 [YANG Zitong] (教育イノベーション機構)		
<b>担当教員 Other Instructors</b>			
<b>科目種別 Course Type</b>	新渡戸カレッジ独自科目		
<b>開講年度 Year</b>	2026	<b>期間 Semester</b>	1 学期(夏ターム)
<b>授業形態 Type of Class</b>	演習	<b>単位数 Number of Credits</b>	1
<b>補足事項 Other Information</b>	-		
<b>キーワード Key Words</b>	アントレプレナーシップ、スタートアップ、イノベーション、製薬業界、ヘルスケアの課題		
<b>授業の目標 Course Objectives</b>	<p>本科目は、大学院共通授業科目(複合領域)と Hokkaido サマー・インスティテュート「創薬科学特別講義 II(バイオ・ヘルスケアアントレプレナーシップ・ワークショップ)」として開講し、新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム履修生へは、「新渡戸カレッジ特別演習:アントレプレナーシップ」としても開講する。学生は本科目でのチームワークを通し、自らの「3+1 の力」(能力更新力、組織形成力、社会還元力、専門職倫理)を改善する。</p> <p>現在の急速に発展している世界では、さまざまな分野において企業間で激しい競争が繰り広げられている。その中で、課題を解決するための新しい案を作り出す能力は不可欠なスキルである。また、チームワークで協調し、より良い結果を提供する能力はすべての企業に必要なスキルである。本講義では学生に、解決策を視覚化し、チームで協働する方法を提供する。特にヘルスケア分野での世界で最も影響力のある課題について解決に取り組む。また本講義では、ビジネスモデルキャンパスの概念も紹介する。本講義を通して学生は、将来のスタートアップや、企業での新しい製品・サービスの立ち上げの際に使用されるビジネスモデルを視覚化することが可能になる。</p>		
<b>到達目標 Course Goals</b>	<p>学生は以下の能力を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ヘルスケア業界の最新トレンドについての理解</li> <li>ビジネスモデルと計画を視覚化するためのツールとしてビジネスモデルキャンパスの理解</li> <li>レゴシリアスプレイを利用して、アイデアや解決策の視覚化</li> <li>さまざまなバックグラウンドを持つチームメンバーと協力して、さまざまな解決策を立案</li> <li>製薬業界のビジネスと創薬のプロセスの基本的な理解</li> <li>コミュニケーションスキルを高め、アイデアを異なる方法で提示</li> <li>世界中のさまざまな国の研究者仲間と強力なネットワークを構築</li> </ol>		
<b>授業計画 Course Schedule</b>	<p>下記のような講義と実践的なワークショップで構成されています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめに</li> <li>創薬開発のケーススタディ</li> <li>医療機器開発のケーススタディ</li> <li>起業家精神の紹介とスタートアップ企業のケーススタディ</li> <li>ビジネスモデルキャンパスの紹介</li> <li>アイデア創出ワークショップ</li> <li>グループワーク:ビジネスモデルの立案</li> <li>グループワーク:アイデアとプレゼンテーションの作成</li> <li>グループワークの最終発表</li> </ol> <p>2026年度の実施日程; 8月27日、28日</p>		

### 準備学習(予習・復習)等の内容と分量 Homework

本講義に対し準備は必要ありませんが、学生は自分が取り組みたいプロジェクトのアイデアや、チーム内の他の学生と協力して解決したい特定の課題を持っていることを強く勧める。また、初日は 1 分間の紹介(エレベーターピッチ)で自己紹介を行いバックグラウンドや研究の紹介しますので、事前に練習することを勧める。

### 成績評価の基準と方法 Grading System

評価は授業中の活動に基づいて判断され、大学の GPA 成績に応じて配分される。

### テキスト・教科書 Textbooks

### 講義指定図書 Reading List

以下の教科書は講義に必要なが、参考のために読んでおくことを勧める。

- Building a Better Business Using the Lego Serious Play Method, Author: Per Kristiansen, Robert Rasmussen.
- Business Model Generation: A Handbook for Visionaries, Game Changers, and Challengers, Author: Alexander Osterwalder, Yves Pigneur
- Value Proposition Design Companion, Author: Alexander Osterwalder, Yves Pigneur

### 参照ホームページ Websites

<https://hokkaidosummerinstitute.oia.hokudai.ac.jp/en/courses/CourseDetail=G020>

<https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp>

### 備考 Additional Information

※すべての講義とワークショップの使用言語は英語

※本科目は、大学院共通授業科目(複合領域)と Hokkaido サマー・インスティテュート「創薬科学特別講義 II(バイオ・ヘルスケアアントレプレナーシップ・ワークショップ)」として開講され、新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム履修生で、当該科目の単位を修得した者は、同カリキュラム「新渡戸カレッジ特別演習:アントレプレナー シップ」の 1 単位を修得したものとみなす。

※詳細については、新渡戸カレッジ独自科目責任教員(谷、tani@eng.hokudai.ac.jp)に問い合わせること。